

# いばらきコープ 社会的責任報告 2025

IBARAKI CO-OP Corporate Social Responsibility Report



食べるしあわせ、自分らしい暮らし  
「ともに」の力で、笑顔の明日を



CO-OP  
コープデリ

いばらきコープ

「ともに」の力で、笑顔の明日を

## CONTENTS

### いばらきコープ SDG s の取り組み

- 2 コープデリグループ ビジョン 2035
- 3 理事長ごあいさつ
- 4 いばらきコープの概況・あゆみ
- 5 コープデリグループのSDG s 重点課題

### SDG s 重点課題と 2024 年度の取り組み

- 7 **01 持続可能な生産と消費のために**  
持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます
- 10 **02 安心して暮らせる地域づくりのために**  
誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに貢献します
- 16 **03 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して**  
1人1人の人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めます
- 20 **04 100年後の地球のために**  
再生可能エネルギーの利用・普及をすすめ、地球温暖化対策を進めます
- 23 **05 世界中の人々の平和で健康な生活のために**  
世界から飢餓や貧困をなくし、世界平和を実現できる取り組みを進めます
- 25 サステナビリティデータ
- 26 行政区別組合員数・地域との協定

## コープデリグループ ビジョン 2035

### 食べるしあわせ、自分らしいくらし 「ともに」の力で、笑顔の明日を<sup>あした</sup>

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で  
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

食の安全と安心を第一に、生産から消費のつながりをより豊かにし  
おいしさ、健やかさ、楽しさ、便利さなど  
それぞれの **食べるしあわせ** を叶えます

さまざまなライフスタイル・ライフステージに寄り添った  
商品やサービス・多彩な活動で、**自分らしいくらし** を実現します。

人を大切に多様性を認め合い、学びと対話を重ねながら  
**願いをかたちにする組織** を目指します。

地域の課題と、環境や平和などの地球規模の課題に向き合い  
さまざまな組織・団体とつながり  
**次世代に笑顔が続く社会** の一翼を担う存在になります。

# 理事長ごあいさつ



代表理事 理事長  
木村 千秋

いばらきコープは「CO・OP ともに はぐくむ 暮らしと未来」を理念に掲げ、組合員の日々の暮らしに貢献するとともに、地域社会から信頼される生協づくりをすすめてまいりました。おかげさまで発足から54年、当時500人足らずだった組合員は、多くの皆さまにささえられ41万人を超えました。

現代社会は多くの困難に直面しています。一昨年発生した能登半島地震、昨年出された南海トラフ地震臨時情報、そして台風や線状降水帯による甚大な被害など、異常気象・自然災害がいつどこで発生してもおかしくない状況が続いています。

また、人口減少・少子高齢化、貧困・格差の拡大、食料自給率の低下、環境問題といった課題は、私たちの安全保障を脅かしています。これらが複合的に影響し合い、物価高騰や需給逼迫を加速させ、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

さらに、世界ではウクライナ侵攻や中東情勢など、平和を脅かす戦争紛争が終わりを見せず、多くの悲劇を生み出しています。昨年、世界の軍事費は過去最高になりました。

いばらきコープでは、「いばらきコープ社会福祉政策」に基づき、組合員の生涯にわたって寄り添える生協を目指し、総合力を発揮し、SDGsの実現に向けて、協同組合間連携や行政・地域とのつながりを大切に、皆さんの暮らしの困りごとを解決する地域共生社会の一翼を担えるよう取り組みを

進めています。今年3月には、茨城県社会福祉協議会と「誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる地域社会づくり」の実現を目的とした包括連携協定を締結しました。災害対応にとどまらず、高齢者の見守り、生活困窮者や災害被害者の支援強化など、協力関係をさらに深めてまいります。

2025年は被爆・戦後80年です。世界の平和と核兵器廃絶の実現のために活動してきた生活協同組合として、平和について私たち一人ひとりが現状を知り、考え、行動していけるよう、取り組みを広げ発信してまいります。

また、2025年は国連が定めた2回目の「国際協同組合年」であり、メッセージは「協同組合はよりよい世界を築く」です。国際的に協同組合への期待が高まっています。この「国際協同組合年」を価値あるものにするため、日本生協連やコープデリ連合会、茨城県生協連、そして協同組合連携組織である協同組合ネットいばらきなど、協同組合の仲間とともに取り組みを進めてまいります。

たすけあいの組織として、これからも生協へ寄せていただいている期待や願いを受け止め、組合員と地域に寄り添いながら「ともに」の力で事業と活動を進めてまいります。SDGs（持続可能な開発目標）が目指す「誰ひとり取り残さない、誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現・地域づくり」に貢献できるよう努力してまいります。

今後ともよろしくお願いたします。

(2025年8月)

## 概況

### 茨城県全域で組合員・県民の暮らしに貢献しています

- 41万人を超える県民が参加する茨城県最大の生協です。
- 県内5店舗と茨城県全域をカバーする12の配送センターから、食を中心に暮らしに役立つ商品やサービスを提供しています。
- その他にも、共済事業、サービス事業、福祉事業を行っています。
- 県内を8つのブロックに区切り、総代選出、組合員活動を行っています



- **コープデリ宅配センター 12**  
土浦、龍ヶ崎、つくばみらい、ひたちなか、水戸、鹿嶋、三和、笠間、十王、千代川、常陸太田、鉾田
- **店舗 5**  
水戸、うしく、ひたちなか、つちうら、日立
- **本部**
- **福祉施設 3**  
コープ菜の花デイサービスセンター、コープ菜の花石岡旭台デイサービスセンター、コープ菜の花の家 水戸

- ブロック 8**
- 北部(日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、東海村)
  - 北西(ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、大洗町、城里町、大子町)
  - 中部(水戸市、笠間市、桜川市、茨城町)
  - 東部(鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市)
  - 南東(土浦市、石岡市、かすみがうら市、小美玉市、美浦村、阿見町)
  - 南部(龍ヶ崎市、取手市、牛久市、福敷市、河内町、利根町)
  - 南西(常総市、つくば市、守谷市、つくばみらい市)
  - 西部(古河市、結城市、下妻市、筑西市、坂東市、八千代町、五霞町、境町)

## コープデリグループ

### コープデリグループの概況

消費者、組合員の暮らしへの最大貢献をめざして同じ理念・ビジョンを掲げる生協のグループです。コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープながの・コープデリにいがた、そしてコープデリ連合会とその子会社で構成されています。



コープデリグループ 組合員数 545万人

## 生協とは

### 暮らしの願いを実現するために消費者が自発的に参加する協同組合です

- 組合員は、「出資」して生協に参加します。
- 組合員は、事業を「利用」することで生協に参加します。
- 組合員は、意見を言ったり、総代となって生協の「運営」に参加します。



## いばらきコープのあゆみ

- 1971年 水戸市民生協設立(水戸市)
- 1976年 茨城県南生協設立(阿見町)
- 1981年 生協いばらき設立(古河市)
- 1988年 県内3生協合併 正式名称を「いばらきコープ生活協同組合」とする
- 1992年 関東5生協(さいたま・いばらき・とちぎ・ぐんま・ちば)による「生活協同組合コープネット事業連合」設立(1999年とうきょう、2005年ながの、2007年にいがた加盟)
- 1998年 宅配事業で「個人配達」スタート
- 2000年 「環境基金」スタート
- 2003年 「福祉事業」スタート
- 2006年 コープネットグループ加盟生協統一の「理念・ビジョン 2015」スタート
- 2007年 宅配事業ブランド「コープデリ」誕生
- 2011年 東日本大震災において、災害時協定により物資供給「移動店舗」「夕食宅配」スタート
- 2014年 「ビジョン 2025」スタート
- 2017年 「生活協同組合コープネット事業連合」から、1都7県6生協(コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープデリにいがた)による「コープデリ生活協同組合連合会」に名称変更
- 2018年 電気小売事業「コープデリでんき」スタート
- 2020年 「コープドライブスルー」スタート
- 2021年 設立50周年 高校生対象の給付型「奨学金制度」スタート
- 2022年 「社会福祉政策」制定
- 2023年 「障害者雇用優良事業所等 厚生労働大臣表彰」受賞 「EVトラック」実験導入
- 2024年 「ビジョン2035」スタート

# SDGs といばらきコープ

## コープデリグループのSDGs重点課題

国際社会の共通目標であるSDGsとコープデリグループの理念「CO-OP ともにはぐくむ 暮らしと未来」が目指す方向は同じです。  
 「コープデリグループのSDGs重点課題～2030年までの長期目標と中期方針～」は、コープデリグループが重点的に取り組むべき課題と目標を掲げること、社会における役割と存在意義を明確に示し、SDGs達成に貢献するべく策定しました。

コープデリグループ理念

**CO-OP**  
 ともにはぐくむ  
 暮らしと未来



**未来へ**  
 つなごう

私たちは、「未来へつなごう」をスローガンに掲げ、グループ全体でSDGs重点課題の目標達成に向け取り組みを進めていきます。



コープデリグループの  
 マスコットキャラクター  
 “ほぺたん”



# 持続可能な生産と消費のために

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます



## エシカル消費拡大にむけた取り組み

### JAグループ茨城と有機農業交流会を開催

2025年3月28日に石岡市の「朝日里山がっこう」にてJAグループ茨城といばらきコープの共催で「有機農業交流会『見て、触れて、食べて』学びましょう」を開催しました。いばらきコープでは毎年産地交流研修会を開催していますが、有機農業に特化した学習交流会は今回が初めての取り組みです。

いばらきコープからは組合員理事9名、ブロック委員8名とそのお子さん4名、役職員4名の計25名が参加しました。

有機栽培で育てられたほうれん草と人参の収穫体験を行い、その後は「環境に配慮した農業の必要性とJAグループ茨城の取り組み」、「いばらきコープの有機農産物等販売状況」について講演いただきました。また、採れたて有機野菜とおにぎりの試食をし、生産者を交えた意見交換会を行いました。

JAグループ茨城は環境に配慮した農業の普及に取り組んでいます。そのなかで、JAやさとの有機栽培部会では、化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業に20年以上取り組んでおり、令和5年度農林水産祭で「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

今後も県内にある産地や生産者との交流や学びの機会をつくり、組合員の食への関心や農業への理解を深める取り組みを、他団体と協力しながらすすめてまいります。



2025年3月28日 朝日里山学校

## 産地とのつながり・交流

### 「グリーンBOX2025♡ふゆ活 in いばらき」オンライン開催

2025年1月28日にコープデリ宅配の「グリーンBOX(旬の野菜の箱詰め企画)」の生産者と消費者が食と農についてお互いの立場を尊重しながら理解を深める場として実施しました。

組合員約80名、生産者約20名の計100名規模のにぎやかな交流会となりました。「茨城ふるさと産直ネットワーク」の、大地のめぐみ、霞ヶ浦有機センター、鹿行産直センター、常陸野産直センター、県西産直センター、JAやさとの産地紹介から始まり、「産地からの生中継」では霞ヶ浦有機センター菅谷さんより現地のレンコン畑で収穫の実演、県西産直センター安喰さんより「しいたけ」ハウスの中から、おいしい「しいたけ」の秘密を教えてくださいました。ブロック委員会からは、組合員活動でのぶどう収穫体験などの産地交流、生産者を招いて旬野菜の調理学習交流会を含め様々な取り組みの報告をしました。グループ交流では、生産者の日頃の苦労話や野菜のおすすめレシピ、組合員からの感謝の言葉を生産者のみなさんに伝える貴重な場となりました。



#### 参加者からの感想▶

「直接農家の方とお話できて、役に立ち、楽しかったです。グリーンBOXをより応援したくなりました。」「レンコンとしいたけの収穫の「現地からの生中継」は、面白くて、とても勉強になりました。菌床から作っていることに驚きました。」



## いばらき美味しお Day

茨城県より依頼を受けて「減塩の日(いばらき美味しおDay)」として、全店舗で特設コーナーを設け来店した組合員の皆さんにお知らせしています。

毎月20日を「減塩の日」として全店舗で実施しています。



## いばらき美味しおスタイル指定店

茨城県が推進する「いばらき美味(おい)しおスタイル」に全店舗で登録しています。



いばらき  
美味しおスタイル

※「いばらき美味しおスタイル」とは、美味しい、ヘルシー、美しい生活スタイルで「減塩」に取り組み、茨城県民の塩分摂取量を減らし、健康長寿日本一を目指す取り組みです。

## たべる、たいせつ 体験をつうじて食べることの大切さを知る



### 食育教室「たべる、たいせつ」

県内の教育機関や小学校、幼稚園などに、食育教室や職場見学などの案内をまとめた「学校教育に役立つ学習ガイド」を約700部配布し、授業や校内活動などに協力しました。

「食育教室 たべる、たいせつ」は、食育サポーターが講師となり、「楽しくたべる」「日本型食生活」「地産地消」の大切さを県内の小学校や他団体と協力しながら取り組んでいます。2024年度は14回開催し、のべ446名が参加しました。(減災教室についてはP.14、環境教室についてはP.22に掲載されています)



参加者  
のべ **446**名  
(2024年度)

「学校教育に役立つ学習ガイド2025」  
こちらからご覧になれます。

URL  
[https://ibaraki.coopnet.or.jp/event/learn\\_prgm/](https://ibaraki.coopnet.or.jp/event/learn_prgm/)

## 未来へつなごう 生産者を応援する取り組み

### メッセージ贈呈

いばらきコープでは日本の農業と生産者を応援する取り組みをすすめています。2024年度は、4つのプロジェクトより「産直お米育ち豚」生産者様、「産直沖縄県伊平屋島もずく」生産者様、高病原性鳥インフルエンザ感染拡大により影響を受けた「コープ産直たまご」生産者様へ、組合員の皆さんからの応援メッセージをお渡ししました。



2024年10月7日  
左から木村理事長、(有)ありす畜産 代表取締役 水野雅幸様、農事組員法人 遊新 職員様



「産直お米育ち豚」生産者への応援メッセージ



2025年4月14日  
「コープ産直たまご」生産者への応援メッセージ



2025年4月14日  
「産直沖縄県伊平屋島もずく」生産者への応援メッセージ

## 「もったいない」から「ありがとう」へ

### フードドライブ・未使用文房具回収の取り組み

食品ロスが発生している一方で、毎日食に困っている人がいます。いばらきコープでは県内全5店舗と本部の6カ所にフードドライブ専用食品寄贈BOX「きずなBOX」などを常設設置、イベント等でもフードドライブを呼びかけています。寄贈された食品はフードバンク茨城(日立店は日立市社会福祉協議会)の取り組みに協力し、寄付しています。

また、未使用文房具をお預かりし、児童養護施設や子ども支援団体・福祉団体・社会福祉協議会等を通じて必要とする方にお届けする活動をしています。



2025年4月29日  
水戸ホーリーホック「いばらきコープサンクスマッチ」にて

フードドライブで集まった  
寄贈食品の重量

**2,378**kg  
(2024年度の合計)

回収で集まった  
未使用文房具数

**2,485**点  
(2024年度の合計)

## SDGs 重点課題 02

## 安心して暮らせる地域づくりのために

誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに貢献します



### 協働の取り組みをさらにすすめるために

### 茨城県社会福祉協議会と包括連携協定を締結

いばらきコープと茨城県社会福祉協議会は2025年3月11日に包括連携協定を締結しました。この協定はそれぞれの強みを活かし、地域住民などが共に支えあう「地域共生社会」の実現を目的としています。

茨城県社会福祉協議会とはこれまで、福祉コミュニティ居場所づくり、災害時の活動資金等の寄付、困窮者への生活支援事業への協力をしてきました。今回の包括連携協定の締結を契機に、災害対応にとどまらず、高齢者の見守り、生活困窮者・災害被災者の支援の強化など、協力関係をさらに深めます。

各県社会福祉協議会と地域生協の間で結ばれている包括連携協定は、本協定が全国3例目となります。



左から、木村千秋理事長、茨城県社会福祉協議会 会長 竹之内章代様



左から、ほべたん、小島正代組合員理事、松尾掌執行役員、木村千秋理事長、茨城県社会福祉協議会副会長 榊原利至様、同会長 竹之内章代様、同常務理事兼センター長 大川遼一様、はんどちゃん

### 茨城県社会福祉協議会と茨城県共同募金会へ寄付金を贈呈

多くの組合員の利用による剰余金を社会に還元するため、2024年度の剰余を活用した「社会への還元」として、茨城県社会福祉協議会と茨城県共同募金会へ寄付を行いました。

今回の寄付金は社会貢献積立金を活用し、「困窮者への生活支援事業、自然災害への備え」「平常時の防災・減災活動(ジュニア防災士養成)」と「生活課題を抱える人々を支援する団体への助成」に活用されます。



寄付金合同贈呈式2025年3月11日  
左から茨城県社会福祉協議会 会長 竹之内章代様、木村千秋理事長、茨城県共同募金会会長 岩上 堯様



左から、木村千秋理事長、茨城県共同募金会会長 岩上 堯様

贈呈した寄付金(2団体合計)

**300**万円  
(2024年度)

## 東日本大震災を忘れない、被災地支援

### 福島県へ寄付金を贈呈

東日本大震災以降の福島県の復興を願って、組合員から寄せられた「ふくしま復興応援募金」を、福島県、福島県共同募金会、福島県生活協同組合連合会へ寄付金を贈呈しました。

寄付金は、「東日本大震災、福島第一原発事故からの復興事業」「福島第一原発事故以降、子育てや子どもの健康に不安を持つ世帯への支援」「被災住民同士の助け合い活動やその支援活動」に活用されます。

贈呈した寄付金(3団体合計)  
**800万円**(2024年度)



2025年1月24日 寄付金合同贈呈式  
左から福島県生活協同組合連合会 佐藤一夫様、福島県危機管理部政策監 伊藤繁様、木村理事長、福島県保健福祉部こども未来局長 吉成宣子様、福島県共同募金会会長 只野裕一様

## 地域社会への貢献

### 茨城県内の子ども食堂を運営する団体へお米を寄贈

「有機栽培宮城県産コシヒカリ」の生産者である黒澤ライスサービス黒澤様より、コープデリ連合会へ寄贈いただいたお米の一部を、茨城県内で子ども食堂を運営する10団体へ寄贈しました。黒澤様からの寄贈は、2024年で4度目となります。

寄贈したお米  
**300kg**(2024年度)



2024年12月21日 コープ日立店にて

## 家庭に眠る未使用のはがきや切手で子どもたちの支援を

### はがき・切手回収キャンペーン

「はがき・切手回収キャンペーン」は、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」取り組みを推進するため、未投函はがき・未使用切手などを皆さんに寄付いただき、その換金で得られる資金を「取り残されている子ども、取り残される恐れがある子ども」の支援活動をしている団体へ寄付する取り組みです。全額、社会福祉法人茨城県共同募金会へ寄付しています。(※2025年度の募集は5月31日で終了しております)

寄せられた件数 **3,140**件(2024年度) 寄付金額 **226万7,837**円(2024年度)



## 新入学児童の交通安全と見守りのために

### ランドセルカバー・横断旗の寄贈

いばらきコープでは、地域の子供たちの安全を守る社会貢献の一環として、新入学児童の交通安全と見守りを目的に、県内の小学校で希望した学校にランドセルカバー・横断旗を寄贈しています。

今年は、「ランドセルカバー」を大子町(3月14日)、常陸太田市(3月18日)、下妻市(3月18日)、かすみがうら市(3月24日)、鉾田市(3月24日)、東海村(3月24日)、坂東市(3月25日)、つくばみらい市(3月31日)の8市町村60校に寄贈しました。\*カッコ内は寄贈日の日付です。

「横断旗」は、ランドセルカバー未配布の学校を対象に希望のあった34校へ117本を寄贈しました。



#### 学校からの声

毎年一年生の命を守ってもらっています。車からこの黄色のカバーを見ると、運転に気を付けなければならないと思わされます。



2025年3月24日  
左からかすみがうら市教育委員会教育長 井坂庄衛様、四宮夕子理事、かすみがうら市長 宮嶋謙様、木村千秋理事長



ランドセルカバーを寄贈した枚数  
**60**校 **2,379**枚  
(2024年度)  
横断旗を寄贈した本数  
**34**校 **117**本  
(2024年度)

## 助け合い、いきいきと暮らせる地域社会づくりのために

### 紙おむつなどの寄贈

いばらきコープでは、コープデリ宅配においてサイズ違いや注文間違いなどの理由で組合員からキャンセルされた商品を福祉施設やフードバンクなどに寄贈する取り組みを進めています。

2024年度は、笠間市社会福祉協議会へ大人用紙おむつなど282個、社会福祉法人同仁会乳児院へ子ども用紙おむつなど196個、水戸市社会福祉協議会へ衛生品480個を寄贈しました。



2024年8月6日 笠間市社会福祉協議会  
左から会長鷹松丈人様、飯島理事



2024年8月9日 同仁会乳児院  
左から、スタッフ加藤様、鈴木理事、施設長谷様、スタッフ西宮様、スタッフ高島様

寄贈した紙おむつなどの個数  
**958**個  
(2024年度)

## 親子で絵本を楽しむ時間は宝物

### みんなの読みきかせ絵本大賞

「みんなの読みきかせ絵本大賞」は、親子にとって宝物である絵本の読み聞かせ文化を次世代へ伝えるための取り組みで、日本生活協同組合連合会から全国の生協に呼びかけがあり、いばらきコープはその想いに賛同して行ったものです。いばらきコープでは普段から配達でお世話になっている幼稚園・保育園などにこの企画の趣旨を伝え、呼びかけを行い、参加・応募いただいた全幼稚園や施設など44園・施設に新刊絵本を各20冊寄贈しました。その中から人気の絵本を1冊投票していただき、2025年10月に投票の結果を受けて人気の絵本1冊が決定し、表彰されます。



2024年12月27日 ひなた保育園つくばみらい



寄贈先

# 44 園・施設

(2024年度)

## 組合員同士でささえあう、子どもたちが将来への夢をあきらめることなく社会へ

### いばらきコープ高校生向け奨学金制度

2021年度より募集を開始した高校生向け「いばらきコープ奨学金制度」。4年目を迎え、2025年度は合計40名の奨学生募集を1月下旬より開始しました。

締め切りまでに募集人数を超える応募があり、4月に選考委員会を開催し、43名(新入生24名、2年生12名、3年生7名)の方を2025年度の奨学生として選出しました。

これにより奨学生は96名となりました。

2024年度までにのべ135名の高校生に奨学金を給付しています。

この奨学金給付事業は、いばらきコープの「奨学金応援サポーター」の皆さんの募金で支えられており、組合員同士の助け合いとして行っています。

奨学生の人数

# 96名

(2025年度)

奨学金応援サポーター人数

# 1,836名

(2025年3月末時点)



## くらしを守るために

### 減災教室

いばらきコープの減災サポーターが講師となり、災害時において発生し得る被害を最小化するための学習を行っています。

防災が被害を「防」ぐという字をあて、被害を出さないことを目指す印象を与えるのに対して、減災はある程度の被害の発生を想定した上で、その被害を低「減」させることを強調するものです。

県内の教育機関や小学校、子供会などから依頼を受けて開催しています。2024年度は9回開催し、のべ517名が参加しました。(学校教育に役立つ学習ガイドについてはP.8参照)



2024年8月27日 鹿嶋市波野公民館

参加者のべ **517名**  
(2024年度)

## 地域と人をつなぐ

### いばらきコープブロック委員会の活動

いばらきコープでは活動地域を8つのブロックに分けて組合員活動を行っています。

組合員の立場でくらしの中から生まれるさまざまな願いを寄せ合い、くらしや地域を豊かにしていく活動に取り組む約50名のブロック委員が、地域の組合員や地域の人々と一緒に、「ほぺたんひろば」をはじめとした参加の場づくりや学びの提供、産地との交流などを行っています。また、活動エリアの行政訪問を実施し地域との関係づくりをすすめています。店舗のあるブロックでは、アニバーサリーイベントなどを一緒に取り組んでいます。

2024年度は「ほぺたんひろば」や「おうちdeほぺたんひろば」、「ほぺたん倶楽部」などの参加とネットワーク登録はのべ1,798名の登録がありました。

ブロック企画の商品学習会や産地・工場見学会などは126回開催され、のべ1,752名の参加がありました。



東部ブロック  
常陸野産直センターぶどう狩り



南央ブロック  
つちうら店アニバーサリー企画



北西ブロック  
ほぺたんひろば



中部ブロック  
S&B学習会

#### ブロックニュース

各ブロックで毎月1回発行しているイベント・ニュースはこちらからご覧いただけます

[https://ibaraki.coopnet.or.jp/event/sanka\\_nw/](https://ibaraki.coopnet.or.jp/event/sanka_nw/)



#### 参加とネットワーク活動ブログ

各ブロックのイベント・活動報告ブログはこちらからご覧いただけます

<http://ibarakicoop.cocolog-nifty.com/blog2/>



参加とネットワーク登録人数

# 1,798名

(2025年3月末時点)

ブロック企画参加人数

# 1,752名

(2024年度)

## 地域のみなさんとの連携

### 地域のスポーツ振興を応援

いばらきコープは、地域のスポーツ振興、地域活性化に取り組む地元スポーツチームを応援しています。プロサッカーリーグJ1「鹿島アントラーズ」(2022～)、J2「水戸ホーリーホック」(2015～)、プロ野球BCリーグ「茨城アストロプラネッツ」(2019～)、プロバスケットボールB1リーグ「茨城ロボッツ」(2021～)、社会人ラグビートップイーストリーグAグループ「日立Sun Nexus 茨城」(2023～)、女子サッカー関東2部「FC QOL 水戸シルエラ」(2023～)をスポンサーとして応援しています。\*カッコ内の数字はスポンサー開始年です。



### 水戸ホーリーホック「いばらきコープサンクスマッチ」開催

いばらきコープが地域貢献のためにスポンサーとして応援しているプロサッカーリーグJ2「水戸ホーリーホック」のホームゲームを「いばらきコープサンクスマッチ」として開催し、来場者にいばらきコープの事業や活動を知ってもらう場としました。2025年で11回目の開催となりました。



2025年4月29日 ケーズデンキスタジアム水戸



来場者数

**4,316名**(2025年度)

## SDGs 重点課題 03

## 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して

1人1人の人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めます



### 宅配事業

#### つかうほど、じぶんらしく

いばらきコープのコープデリ宅配は、食材から日用品、子育てグッズまで、幅広い商品が揃い、重くてかさばるものも玄関先までお届け、週に1度配達に合う『ウイークリーコープ』と、栄養バランスを考えた「舞菜(夕食宅配)」や、カット済み材料と調味ダレがセットになった「コープデリミールキット」など、食生活をしっかりとサポートする商品を月曜日から金曜日までの週3日～5日お届けする『デイリーコープ』があります。



<https://efriends.coopdeli.jp/look/>



供給高

**355億2,700万円**  
(2024年度)

事業所

**12センター** (2025年3月20日現在)

#### あらゆる世代がより便利に利用できるために、コープデリ宅配アプリの機能充実と利用者拡大

いつものお買い物をアプリひとつで快適にご注文いただけるようになりました。

ライフスタイルに合わせて、注文方法を選ぶことができます。

1. WEBカタログを見ながらご注文が利用できるようになりました。カタログ内の注文番号をタップすると、そのまま注文ができます。
2. 1週間分の献立がワンタップで作成できる「献立コンシェルジュ」が、アプリでも利用できるようになりました。献立作りからレシピに必要な商品の注文まで、アプリひとつで完結できます。
3. 紙のカタログを見ながら注文番号を入力するだけです。カタログをゆっくり見たい方にもおすすめです。



コープデリ宅配アプリ

アプリダウンロードはこちら



#### 「安全は、すべてに最優先」安全運転、交通事故防止に取り組んでいます

「無事故プログラムドラレコ」を全車両に導入しています。一時停止や制限速度超過の違反通報を活用した指導や、実際の事故映像を視聴し事故の要因や対策を論議しながら事故を発生させないための「安全運転行動宣言」を行い、事故削減や防止に取り組んでいます。



## 店舗事業

### おいしさと安心を、うれしい価格で

いばらきコープのお店では、普通の暮らしに必要な商品を、お手頃な価格で提供しています。

「地域に根ざした店づくり」を各店舗ごとに追求し、コープ商品、産直商品を中心に、お一人様から大家族まで、幅広い世代のお客様に寄り添う品揃えをしています。



<https://ibaraki.coopnet.or.jp/service/shop/>



供給高  
**69億968万円**  
(2024年度)

店舗数  
**5店舗** (2025年3月20日現在)



### フルセルフレジおよび交通系 IC を導入しました

コープつちうら店で先行導入したフルセルフレジを水戸店(2025年1月22日)、ひたちなか店(1月29日)、日立店(2月12日)に導入しました。これまで通り各店通常レジもご利用できます。

また、全店で交通系 IC も使用できるようになりました。利便性を高めるための導入で、安心してご利用いただけるよう係員を配置してご利用案内をすすめています。

### あなたの生活をもっと便利に、楽しく 「ほぺたんアプリ」をリリースしました

「お店利用タグ」ではチャージ機能付きポイントカード、ほぺたんカードのチャージ金額やポイント数がわかりやすく確認できるようになりました。お届けされるクーポン券も増え、店舗での買い物をもっと手軽にもっとお得になりました。

さらに「イベント参加タグ」では地域のイベント情報や組合員同士が交流する場を手軽にチェックできるようになりました。



ほぺたんアプリ

アプリダウンロードはこちら



<https://ibaraki.coopnet.or.jp/service/fureaibin/>



### 移動店舗ふれあい便

移動店舗ふれあい便は、お買い物に不便を感じている方々を支援するためのサービスです。現在、コープ水戸店から水戸市を中心に、コープうつくしまから牛久市を中心に運行しており、生鮮食品を中心に約400品目を取りそろえたトラックが、決められた曜日・時間に停留所を巡回しています。

## 福祉事業

### 住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けられるように

居宅介護支援サービス <b>1事業所</b> (水戸市)	デイサービスセンター <b>2事業所</b> (水戸市・石岡市)	訪問介護サービス <b>1事業所</b> (水戸市)	サービス付き高齢者向け住宅 <b>1事業所</b> (水戸市) (2025年3月20日現在)
------------------------------------	--	----------------------------------	---

「住み慣れた地域で、いつまでも自立した生活がしたい」という思いを大切に、共に安心して暮らせるように支援する事業を行っています。

### 自立を支援するための「生協 10 の基本ケア」

「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅を支援」を基本に、生協の介護で大切にしている10項目をまとめたもので、人間の自然な身体の動きを活用した介助を徹底し、自立した生活を維持し、生活の質の向上へとつなげていきます。

<https://ibaraki.coopnet.or.jp/service/welfare.html>



### 「生協 10 の基本ケア®」

なじみのある地域で、いつまでもずっとくらし続けたい。そんな当たり前の願いを実現するために、3つの大切な考え方や、具体的な方法を10にまとめてあります。

尊厳を護る 自立を支援する 在宅生活を支援する	
1 換気をする	6 座って会話をする
2 床に足をつけて座る	7 町内におでかけをする
3 トイレに座る	8 夢中になれることをする
4 あたたかい食事をする	9 ケア会議をする
5 家庭浴に入る	10 ターミナルケアをする

## 共済事業

### 「入ってよかった」負担の少ない家族みんなの保障

コープ共済 共済金支払件数	<b>28,061件</b> (2024年度)	コープ共済 共済金支払額	<b>16億2,974万円</b> (2024年度)
------------------	----------------------------	-----------------	-------------------------------

コープ共済  
契約件数 **199,297件** (2025年3月末時点)

ケガや病気などのくらしの「もしも」に備えるため、「CO-OP 共済」事業をおこなっています。月々 1,000 円からの手頃な掛金で、入院・手術・けがなどの幅広い保障、加入条件がゆるやかなコースもある〈たすけあい〉、生命・入院・がん保障の〈あいぶらす〉、終身の生命保障や医療保障の〈ずっとあい〉、学生を取り巻くさまざまなリスクにそなえる〈CO・OP 学生総合共済〉。また、火災共済や、自然災害共済、マイカー共済なども取りそろえています。

### 生まれる前から申し込む、保障の新しい備え方 「お誕生日前申し込み」

妊娠中から赤ちゃんの保障をお申し込みいただける制度で、先輩ママやパパの組合員さんの想いから生まれたコースです。

赤ちゃんの健康状態に関わらず申し込み、お誕生日から保障がはじまります。赤ちゃんのもしもに備えることが出来て安心です。



## 多様な働き方とワークライフバランスの推進

子育てサポート企業として2025年に厚生労働大臣より6度目のくるみん認定を受けました。



参加人数  
**11名**  
(2024年度)

### 1.「子ども参観日」の取り組み

職員の子どもや孫を対象に、親や祖父母の働いている姿を見て、一緒に仕事を体感することで生協や仕事への理解を深めてもらう目的で年1回開催しています。職員自身にとっても、家族と一緒に仕事をする事で、家族との絆を深めるとともに、仕事への誇りを強く感じ、モチベーションを高める機会となっています。

### 2.「いばらきコープ次世代育成支援対策としての行動計画」の策定をしました

期間：2025年3月21日～2027年3月20日(第7期)

目標：2027年3月までに子供出生時に父親が取得できる配偶者出産休暇取得率を70%以上にします。

さらには、男性がより育児に関われる環境を整備し、男性の育児休職の取得率を60%以上にします。

### 3.「いばらきコープ 女性活躍推進法にもとづく行動計画」の策定をしました

期間：2025年3月21日～2027年3月20日(第5期)

目標：①正規職員の中に占める女性の割合を25%以上にします。

②女性正規職員のリーダー職以上への登用を40名以上にします。

## 組合員の期待に応えるために～イイネ！カード～

理念・ビジョンの実現に向けて、職員一人ひとりが仕事を進める際に行動の基本となる「行動指針」があり、素晴らしい行動をした職員に対して、職場の仲間から「イイネ！カード」を送ります。さらに、たくさんのイイネ！の中から、素晴らしい事例を選び、毎月表彰し全職員で共有しています。

提出枚数  
**11,256枚**  
(2024年度)



## イキイキと輝ける将来への道筋を描くため～コープデリグループ内インターンシップ

若手職員が将来の働く姿を具体的にイメージし、「将来自分もこんな仕事をしてみたい」と目標にむかう道筋を描けるように、コープデリグループ内インターンシップを2024年度から本格導入しました。

コープデリグループ全体で他部署の仕事を理解し、やりがいを感じること、職員一人ひとりが自発的に将来のキャリアを考慮することができる環境づくりをすすめています。

### 参加した職員からの感想▶

- ・自分自身、もっと色々な方や色々な場所を見てみようと思いきっかけになり、大変有意義な時間でした。
- ・なかなか普段の業務では各部署がどのように動いているのか知ることができませんが、こうした貴重な機会に少しでも知ることが出来るととても嬉しく思いました。業務内容は全然違っていてもコープのファンづくりにつなげるというところは共通しており、働かれている皆様にも、考え方の軸としてあることが伝わりました。



参加人数  
**4名**  
(2024年度)

SDGs  
重点課題  
**04**

## 100年後の地球のために

再生可能エネルギーの利用・普及を進め、地球温暖化対策を進めます



## 再生可能エネルギーによる発電をコープの施設で

### 太陽光発電設備の設置

コープデリグループでは2030年温室効果ガス削減目標の達成に向け重点的に取り組む3つの柱の一つとして、再生可能エネルギー創出・使用による電気由来のCO2削減に取り組んでいます。宅配センターの屋上に太陽光発電設備の設置をすすめ、発電された電気は、全国の生協の電力事業を担うために設置された日本生活協同組合連合会の子会社(株)地球クラブへ売電しています。(株)地球クラブは環境負荷の少ない太陽光発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギーの普及をすすめています。また発電された電気の一部はいばらきコープの施設で使用しています。



コープデリ笠間センター

太陽光発電設備設置事業所

事業所名	出力(kW)	設置日
十王センター	5	1999年 7月
千代川センター	5.2	2001年 2月
常陸太田センター	5	2001年 3月
銚田センター	5.3	2004年 3月
ひたちなかセンター	190	2013年 4月
笠間センター	194	2013年 11月
鹿嶋センター	49.5	2017年 9月
菜の花の家 水戸	49.5	2017年 10月
水戸センター	70	2020年 4月
つくばみらいセンター	106.6	2021年 10月
龍ヶ崎センター	111.7	2023年 7月

再生可能エネルギー  
発電能力(設備容量) **791.8kw**

## 環境を守る活動を支援

### リサイクル資源回収の推進

「レッツ みんなで リサイクル」をキーワードに、よりよいリサイクルのためにできることとして、コープデリ宅配で配達したものの、コープデリのお店で販売したものを資源物として回収しています。組合員の協力により回収された資源物の一部は商品やパッケージなどに生まれ変わります。

回収している資源物について  
詳しくはこちらから  
<https://sustainability.coopdeli.coop/ecokatsu/recycle-action>



### リサイクル資源回収実績 (2024年度)

回収品目	宅配のみ		宅配・店舗				店舗のみ
	商品カタログ・チラシ	商品とカタログのお届け用ポリ袋	ペットボトル	飲料用紙パック	食品トレー	たまごパック	アルミ缶
回収量	3353.9t	55.7t	93.4t	68.8t	36.5t	14.6t	9.2t
前年比	94.4%	97.7%	104.0%	97.5%	109.2%	100.6%	121.0%

## 茨城県の豊かな自然環境と資源について親子で楽しく学ぶ取り組み

### 「がっこうシリーズ」

自然豊かな茨城県を身近に感じてもらいながら、自然環境を守る大切さを組合員とその家族みんなで考え、楽しく学ぶ「がっこうシリーズ」を毎年開催しています。

実際に、海や川、湖に行き水辺に住む魚やカニを捕まえたり、森の中できのこをみつけたり、バケツで田んぼを再現して稲を育てたり、自然や生き物について学ぶ体験学習です。2024年度は「田んぼ」「湖」「海」「川」「森」の5つのがっこうを開催し、組合員とその家族、のべ51家族153名が参加しました。



2024年7月27日 川のがっこう:十王川



2024年8月3日 森のがっこう:水戸市森林公園



2024年7月20日 田んぼのがっこう「おむすびレンジャー」:  
ポケットファームどきどき茨城町店



2024年10月26日 湖のがっこう:  
茨城県霞ヶ浦環境科学センター



2024年8月24日 海のがっこう:大洗海岸

いばらきコープの「がっこうシリーズ」  
紹介動画をご覧になれます  
[https://www.youtube.com/  
watch?v=yrrhmCspW\\_tw](https://www.youtube.com/watch?v=yrrhmCspW_tw)



参加者のべ

**51** 家族 **153** 名  
(2024年度)

## 地域みなさんと地球環境を守る活動をすすめています

### いばらきコープ環境基金

いばらきコープ環境基金は2000年に設立し、翌2001年より茨城県内で環境保全活動や環境学習などを行う個人や団体・学校などへ助成を行っています。2024年までの24年間でのべ941件、総額6,013万円の助成を行ってきました。

毎年「助成団体活動交流会」として助成している団体・個人の皆様から活動のご報告をいただく場として、動画を作成して公開しています。2024年度に助成した44団体・個人の中から6団体の皆さんの活動をご紹介します。

2025年度は40団体・個人へ253万5千円を助成することを決定いたしました。

私たちの周りには、身近に環境保全につながる活動がたくさんあります。これからも地域の皆さんとともに、地球環境を守る活動をすすめていきます。

2024年度助成団体活動発表会を  
ご覧になれます  
[https://www.youtube.com/  
watch?v=OeMLtU04n-M](https://www.youtube.com/watch?v=OeMLtU04n-M)



環境基金助成実績推移

助成年度	助成件数	助成額(万円)
2021年(2020年募集)	46	230
2022年(2021年募集)	44	220
2023年(2022年募集)	40	200
2024年(2023年募集)	44	277
2025年(2024年募集)	40	253.5



## 豊かな自然を守るために

### 環境教室

いばらきコープの環境サポーターが講師となり、リサイクルや森林保全などについての学習を行っています。

資源の有効利用を実体験として学ぶことのできる牛乳パックを再利用してハガキをつくる「紙すき体験」、茨城県の間伐材を使用した「箸づくり体験」などを実施しています。

県内の教育機関や小学校、子供会などから依頼を受けて開催しています。2024年度は7回開催し、のべ260名が参加しました。(学校教育に役立つ学習ガイドについてはP.8参照)



2024年8月5日 水戸市立柳川第二小学校放課後学級

参加者のべ **260** 名  
(2024年度)

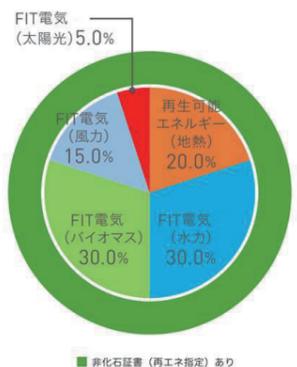
## くらしと未来にやさしいでんき

### コープデリでんき

2017年より電気の販売を開始しました。コープデリでんきは温室効果ガスを排出せず、国内でつくる安心・安全にこだわった電力「コープデリでんき再生可能エネルギー100%メニュー」の他、「ベーシックメニュー」を取り揃えています。

「CO<sub>2</sub>排出ゼロ」

「コープデリでんき」  
再生可能エネルギー100%メニューの  
電源構成・非化石証書の使用状況  
(2024年度計画値)



# 世界中の人々の平和で健康な生活のために

世界から飢餓や貧困をなくし、  
世界平和を実現できる取り組みを進めます



「平和とよりよい生活のために」このスローガンのもと、いばらきコープでは平和の取り組みを行っています。平和の取り組みの財源の一部には、組合員の皆さんから協力いただいている「平和募金」を充てています。

## 次世代に伝えたい平和への願い

### 2024 ピースアクション in いばらき夏

茨城県ピースアクション実行委員会では、毎年春と夏に平和について考えるイベントを行っております。8月25日に茨城大学水戸キャンパス人文社会学部教室にて、「〜つないでいこう、平和の和〜」をテーマに2024 ピースアクション in いばらき夏を開催しました。

ピースアクションに現地ヒロシマで参加した組合員家族が、実際に見て、聞いて感じたこと、想いを自分のことばで伝えました。そのあと参加者全員が今自分にできること、平和への想いをこめて「わたしの平和宣言」を力強く発表しました。

茨城大学の佐々木教授から「戦争のつくり方」、蓮井教授から「平和のつくり方」についてリレー講演をしていただきました。パネルディスカッションでは、大学生やピースアクション in ヒロシマ、平和スタディツアー参加者などが様々な立場・視点から戦争と平和について話し合いました。

#### 茨城県ピースアクション実行委員会

茨城県生活協同組合連合会、パルシステム茨城 栃木、いばらきコープ、JA 茨城県中央会で構成された、平和の活動継承などをすすめるために活動している委員会です。茨城県内の協同組合が連携して活動を行っています。



詳しい参加報告は  
こちらから



### いばらきコープ平和のつどい

いばらきコープでは生協の原点である平和についてのさまざまな取り組みを共有し、戦争の悲惨さを改めて認識し、平和の尊さを学ぶ機会として、「いばらきコープ 平和のつどい」を開催しています。

2025年度は9月13日に筑波海軍航空隊記念館で開催します。ピースアクション in オキナワ、ピースアクション in ヒロシマの参加者報告など、いばらきコープの平和の取り組みの報告の他、記念館のガイド付きツアーなども行う予定です。

組合員からの平和を願うメッセージを募集しリリースを作成しています。2025年は被爆・戦後80年です、今後もいばらきコープは平和の取り組みを継続してまいります。



詳しい参加報告は  
こちらから



## 戦争も核兵器もない未来を〜ピースアクションへの代表派遣〜

### ピースアクション in ヒロシマ

広島県生活協同組合連合会と日本生活協同組合連合会は、被爆体験の継承や核兵器のない世界への思いを共有する場として、1978年から毎年「ピースアクション in ヒロシマ」を開催しています。

2024年8月4日〜6日の3日間、いばらきコープからは2組5名が代表として参加しました。1日目は、被爆後に救護所として使われた袋町小学校平和資料館を見学し、爆風により吹き飛ばされたという太鼓や、焼け焦げた壁に書き込まれた家族を探す伝言などを見学しました。その後は、現地ガイドにより広島平和記念講演を案内していただきました。

2日目は、広島総合体育館で「若者たちの平和な未来についてのパネルディスカッション」のモニター視聴や参加者同士の感想交流会を行いました。また、「ピースアクション in ヒロシマ虹のひろば」で被爆体験の証言や、広島県内の高校生や大学生の平和に関する取り組みの報告を聞きました。そして最終日には広島平和記念式典を訪れ、献花をしてきました。

#### 参加者からの声▶

「実際に現地に来てみないとわからないことが多いことに驚いた」  
「原子爆弾が投下された当時のことを知っている人が少なくなってきている中で、多くの若者達に引き継がれているのが印象に残りました」

詳しい参加報告は  
こちらから



### ピースアクション in オキナワ

沖縄県生活協同組合連合会と日本生活協同組合連合会が、沖縄戦の実相と現在の沖縄が抱える基地問題を学び平和について考える機会として、毎年沖縄で、戦跡・基地をめぐる活動に取り組んでいる「ピースアクション in オキナワ」は2024年度で42回目を迎えました。

2025年3月26日〜28日の3日間、いばらきコープからは2家族6名が代表として参加しました。これまで、役職員の派遣はありましたが、組合員の沖縄派遣は初めてとなりました。

1日目は全体会が行われ、沖縄県知事からのビデオメッセージをいただいた後に、「参加前の事前学習や、ピースアクションに参加した思い」などを交流しました。劇鑑賞や講話では戦場での実体験をされた方に、行き場のない戦場をさまよいながら、目の前で多くの家族や親戚、友人を亡くした体験をお聞きました。

2日目は「親子中心コース」のフィールドワークに参加し、ひめゆり平和祈念資料館、平和創造の森公園、魂魄の塔、首里城を見学し、献花を行い黙祷を捧げました。

3日目は嘉数高台公園と、対馬丸記念館を見学しました。銃弾の跡が残る塀や、実際に戦時中に身を隠したトーチカ(コンクリート製の陣地)に入り、現地でしか経験できない体験をしました。

#### 参加者からの声▶

「東京大空襲や茨城県の水戸空襲、日立や土浦の空襲、阿見の予科練など地域の戦争の歴史にも興味が広がりました。」  
「子どもの頃、戦争について家で話す機会も少なく、また、祖父母に聞けなかったことを今は悔やんでいます。これからは子どもたちと共に知り、考え、話し合う機会を大切にしたいと感じました」

詳しい参加報告は  
こちらから



# サステナビリティデータ Sustainability DATA

## 2024年度いばらきコープ緊急支援募金

募金・寄付・取り組み名	寄付先・寄付金の活用方法	募金(寄付)金額(円)
ガザ・イスラエル人道危機支援募金 (2023年12月~2024年2月)	日本ユニセフ協会「ガザ人道危機緊急募金」、日本赤十字社「イスラエル・ガザ人道危機募金」 パレスチナ自治区ガザ地区とイスラエル間での武力衝突の激化によって危機的状況に置かれている子どもたちや女性を含む被害にあわれた方々を支援	5,823,728
台湾東部沖地震救急支援募金 (2024年4月15~5月10日)	日本赤十字社：2024年4月3日に台湾の東部沖沿岸を震源とした地震が発生したことへ対して、台湾赤十字組織が行う救援・復興支援活動および防災・減災事業など	2,514,369
令和6年能登半島地震緊急支援募金 (2024年1月8日~3月31日)	石川県・富山県・新潟県など被災地域の自治体を通じて被災された方々への義援金、被災地や被災地生協の復旧活動費用などの復旧支援	36,052,438
令和6年能登半島地震及び能登豪雨災害募金 (2024年9月27日~2025年1月12日)	石川県内の被災地域の自治体を通じて被災者への義援金をはじめ、被災地の復旧活動費用	14,556,476
岩手県大船渡市山林火災支援募金 (2025年3月19日~4月13日)	2025年2月26日に岩手県大船渡市を中心に発生した山林火災に対して、被災地の自治体を通じて被災者への義援金、被災地域の復旧・復興のための支援金など	10,105,899

## レジ袋辞退率 (2024年度)

	コープ水戸店	コープうしく店	コープひたちなか店	コープつちうら店	コープ日立店	合計
レジ袋辞退率 (%)	86.3	93.6	86.0	81.5	83.7	85.7

## 多様性を認めたい、互いに尊重し合う 取り組み状況 (2024年度)

女性職員比率	21.3%
女性管理職比率	10.5%
育児休職(人)	2
男性職員の育児休職取得率	83.0%
育児時短(人)	9
子の看護休暇(人)	24
配偶者出産休暇(人)	4
障がい者雇用率 (%)	3.01%
定年後再雇用(人)	25

## いばらきコープの安心して暮らせる地域づくりの取り組み

項目	2024年度実績
米寄贈	300kgのお米を子ども食堂を運営する団体へ寄贈 (P.11参照)
フードバンクへの寄付	フードドライブ専用食品寄贈BOX(きずなBOX)常施設設数6カ所、寄付いただいた食品2,378kgはフードバンク茨城・日立市社会福祉協議会へ寄付。(P.9参照)
子育てひろば	子育て中の親子が知り合い、交流できる場づくりとして、「子育てひろば」を18回開催し、のべ親子103組が参加。
自治体との見守り協定	コープデリ宅配の職員が配達の際、組合員や地域の高齢者の異変などに気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に速やかに連絡・通報を行う協定。県内全44市町村と締結。見守り協定における行政機関への連絡件数30件。
自治体との災害時協定	災害時の緊急支援物資提供などの協定。茨城県および県内全44市町村と締結。
くらしの助け合いの会	おたがいさまの気持ちを大切に、くらしの中の困りごとで組合員による有償のボランティアによって助けあう活動。活動時間1872時間。

# 行政区別組合員数

(組合員数2025年3月20日現在、世帯数2025年3月1日現在)

行政区	組合員数	世帯数	加入率
水戸市	50,163	127,005	39.50%
日立市	26,215	75,885	34.55%
土浦市	29,351	67,729	43.34%
古河市	15,045	59,178	25.42%
石岡市	9,338	28,918	32.29%
結城市	4,357	20,220	21.55%
龍ヶ崎市	10,215	33,829	30.20%
下妻市	5,165	17,789	29.03%
常総市	7,079	23,657	29.92%
常陸太田市	7,922	18,811	42.11%
高萩市	3,061	11,299	27.09%
北茨城市	4,014	17,037	23.56%
笠間市	10,922	30,149	36.23%
取手市	12,961	48,335	26.81%
牛久市	17,463	36,780	47.48%
つくば市	27,360	124,035	22.06%
ひたちなか市	31,055	69,075	44.96%
鹿嶋市	6,586	28,927	22.77%
潮来市	2,594	10,908	23.78%
守谷市	8,791	29,473	29.83%
常陸大宮市	5,353	15,505	34.52%
那珂市	8,243	21,676	38.03%

行政区	組合員数	世帯数	加入率
筑西市	12,611	39,747	31.73%
坂東市	5,660	19,965	28.35%
稲敷市	5,385	14,762	36.48%
かすみがうら市	5,004	16,051	31.18%
桜川市	6,152	13,554	45.39%
神栖市	9,638	42,584	22.63%
行方市	3,983	11,320	35.19%
鉾田市	5,793	19,509	29.69%
つくばみらい市	6,550	21,791	30.06%
小美玉市	6,542	19,123	34.21%
茨城町	5,551	12,060	46.03%
大洗町	2,009	6,711	29.94%
城里町	2,896	6,962	41.60%
東海村	6,102	16,199	37.67%
大子町	2,153	6,012	35.81%
美浦村	2,312	5,906	39.15%
阿見町	7,566	22,321	33.90%
河内町	1,132	2,842	39.83%
八千代町	2,215	7,797	28.41%
五霞町	656	3,056	21.47%
境町	2,606	9,400	27.72%
利根町	1,994	6,916	28.83%
茨城県	407,763	1,240,808	32.86%
県外	3,201		
<b>総計</b>	<b>410,964</b>		

## 地域との協定

- 【災害時協定】 【見守り協定】  
茨城県、全44市町村と協定締結
- 【地域包括連携協定】  
日立市、水戸市と協定締結
- 【災害時における資機材の運搬に関する協定】  
【包括連携協定】  
茨城県社会福祉協議会と締結

いばらきコープはコープデリ宅配、コープのお店、福祉、共済等の事業に加え、食の安全や食育、環境保全、買い物支援や子育て支援等の活動の他、行政や社会福祉協議会等との「災害時協定」や「見守り協定」、「包括連携協定」を締結し、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざしています。

いばらきコープのサステナビリティサイト  
<https://ibaraki.coopnet.or.jp/csr/>



いばらきコープホームページ  
<https://ibaraki.coopnet.or.jp/>



## 2025年は国連が定めた国際協同組合年です



**国際協同組合年**

協同組合はよりよい世界を築きます

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、貧困や飢餓、不平等、気候変動、紛争などの課題を解決するための国際的な目標です。人々が自発的に組合員となり、相互扶助の精神に基づき、協力して事業を営み、共通の願いを実現し、課題を解決する組織である協同組合はSDGsに貢献し得る組織として期待を寄せられています。協同組合のSDGsへの貢献に対する認知を高め、協同組合を振興するために「国際協同組合年」を制定しました。

いばらきコープは協同組合に対する理解の促進、協同の輪を広げ地域問題の解決のために、協同組合や様々な組織との連携をすすめてまいります。

## いばらきコープ生活協同組合

〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地1703  
TEL 0299-36-7266 FAX0299-48-4458  
<https://ibaraki.coopnet.or.jp/>



いばらきコープ

「ともに」の力で、笑顔の明日を

2025年8月発行